

令和元年 12 月 20 日
地震火山部

霧島山（新燃岳）の噴火警戒レベルを 1 へ引下げ

霧島山（新燃岳）では、新燃岳火口周辺に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなりました。

霧島山（新燃岳）では、11 月 17 日から 18 日にかけて新燃岳火口直下を震源とする火山性地震が増加したことから、11 月 18 日に噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）に引き上げました。その後、火山性地震は少ない状態が続き、噴煙の状況など他の観測データにも火山活動の活発化を示す変化は認められていません。また、12 月 12 日に実施した現地調査でも、特段の変化は認められませんでした。

以上のことから、新燃岳火口周辺に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断し、本日（20 日）11 時 00 分に噴火予報を発表して、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げました。

活火山であることから、新燃岳火口内及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

問合せ先：地震火山部 火山課 担当 高木

電話 03-3212-8341（内線 4538） FAX 03-3212-3648